

芸術総監督おすすめコメント

ベートーヴェンの交響曲9番は日本でも年末の風物詩「だいく」として親しまれ、毎年12月になると全国で100回以上は公演が開催されています。これだけの回数になるのはクラシック音楽ファンだけでなく、この作品に魅せられた人がいるということなのでしょう。私自身もこの作品には万物を超越した特別な力が動いて現れたとしか思えないほどのエネルギーを感じますし、「奇跡の作品」として全人類が等しく共有する財産的な作品だと思います。未体験の方には是非この機会に劇場で体験されることをお勧めします。

東海市芸術劇場館長兼芸術総監督 安江正也



飯守泰次郎 [指揮]

現在、仙台フィル常任指揮者、東京シティ・フィルおよび関西フィルの桂冠名誉指揮者。桐朋学園で学んだ後、ヨーロッパで研鑽を積み、マンハイム市立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場などの指揮者を歴任。国内では、名古屋フィル、東京シティ・フィル、関西フィル各常任指揮者、新国立劇場オペラ部門芸術監督などを歴任。これまでに、数多くの賞を受賞。また、2012年度の文化功労者に選ばれ、2014年12月には日本芸術院会員に選ばれた。



田崎尚美 [ソプラノ]

東京藝術大学卒業。同大学院、二期会オペラスタジオ修了。16年東京二期会『ナクソス島のアリアドネ』タイトルロール、17年日生劇場『ルサルカ』タイトルロール、19年東京二期会『サロメ』タイトルロールで出演し絶賛を博す。コンサートでも「第九」をはじめ、マーラー「千人の交響曲」などのソリストとしても活躍し、各方面から注目を集めている。二期会会員。



池田香織 [メゾソプラノ]

慶応義塾大学卒業。二期会オペラスタジオ修了。オペラでは新国立劇場『ラインの黄金』『神々の黄昏』、東京二期会『トリスタンとイゾルデ』イゾルデをはじめ数々の舞台で活躍。コンサートでは、マーラー「交響曲第3番」(E. インバル指揮)、ヤナーチェク『運命』(G. アルブレヒト指揮)など出演を重ね、国内外の著名な指揮者からの信頼も厚い。二期会会員。



東海市民合唱団 [合唱指揮: 横山琢哉]

2014年10月設立。約100名の団員が在籍し歌い継がれる唱歌や名歌などを切磋琢磨し、練習しています。結成6年目ですが、オーケストラやプロ歌手、全国の合唱隊と共演する機会に恵まれ、経験を積み重ねながら成長している団体です。



名古屋フィルハーモニー交響楽団 [管弦楽]

名古屋市を中心に活動する、東海地方を代表するオーケストラ。「名フィル」の愛称で親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。1966年に楽団結成、1973年に財団法人に、2012年に公益財団法人となる。現在は小泉和裕を音楽監督に、バラエティに富んだ年間約120回の演奏会を実施している。



城宏憲 [テノール]

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。日本音楽コンクール第1位。16年『イル・トロヴァトーレ』マンリーコで二期会デビュー以降、『トスカ』カヴァラドッシ、『ノルマ』ポリオーネ、『エロディアド』ジャン、『アイダ』ラダメス、『カルメン』ドン・ホセに出演し常に高い評価を得ている。20年東京二期会『椿姫』アルフレードで出演予定。二期会会員。



与那城敬 [バリトン]

桐朋学園大学卒業。同大学研究科、新国立劇場オペラ研修所修了。新国立劇場をはじめ兵庫県芸術文化センター、日生劇場など数々の舞台で活躍。コンサートにおいても国内主要オーケストラと共演するほか、東急ジルベスターコンサート、NHKニューイヤー・オペラコンサートに出演。19年東京二期会『金閣寺』溝口、グランドオペラ共同制作『カルメン』エスカミリオで出演し公演を成功へ導いた。二期会会員。

劇場インフォメーション

芸術劇場オペラ聴いてみようプロジェクトvol.2 オペラへらへらコンサート

2020年2月23日(日) 15:00開演
東海市芸術劇場 多目的ホール

全席指定 一般 ¥3,500 小中高生 ¥1,000
※未就学児入場不可

ユウナルフレンドメンバーズ
プラチナ会員割引価格

一般 ¥3,150
小中高生 ¥900

出演 天羽明恵(ソプラノ・お話)、与儀巧(テノール・お話)
城谷正博(ピアノ・お話)

発売日: [先行] 12月1日(日) [一般] 12月8日(日)



©Akira Muto

中村文則 [作家・東海市ふるさと大使] トーク会

2020年2月29日(土) 15:00開演
東海市芸術劇場 大ホール

一般 ¥500 小中高生 ¥200
※未就学児入場不可。

出演 中村文則(作家・東海市ふるさと大使)

発売日: [先行] 12月7日(土) [一般] 12月14日(土)

